

名張市社会福祉協議会 令和4年度 資金収支決算書

(自)令和4年 4月1日(至)令和5年 3月31日 (単位:千円)  
※四捨五入

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	会費収入	6,289
	分担金収入	1,010
	寄附金収入	648
	経常経費補助金収入	100,430
	受託金収入	137,080
	貸付事業収入	949
	事業収入	9,846
	介護保険事業収入	105,436
	保育事業収入	144,470
	その他の事業収入	5,740
	経常経費寄附金収入	4
	受取利息配当金収入	7
その他の収入	3,407	
事業活動収入計(1)	515,316	
支出		
人件費支出	356,675	
事業費支出	107,218	
事務費支出	23,797	
貸付事業支出	1,078	
共同募金配分金事業費	2,705	
分担金支出	5	
助成金支出	12,299	
負担金支出	133	
その他の支出	159	
流動資産評価損等による資金減少額	62	
事業活動支出計(2)	504,131	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	11,185	
施設整備等資金収支差額(4)	△7,571	
その他の活動資金収支差額(5)	△6,886	
当期資金収支差額合計(6)=(3)+(4)+(5)	△3,272	
前期末支払資金残高(7)	104,217	
当期末支払資金残高(6)+(7)	100,945	



## 3年ぶり「ふれあいフェス」も

# 令和4年度 事業報告

ともに生きる豊かななばりに向け

地域福祉  
増進事業

ふれあい  
フェスティバル

災害ボランティア  
センター設置訓練

3年ぶりに、日頃のボランティア活動の紹介と交流を目的とした「ふれあいフェスティバル」を開催しました。

当日は、新型コロナウイルスの感染拡大に注意し、館内は飲食禁止としましたが、できるだけ多くのボランティア活動を知ってもらいために、スタンパリーボランティアのブースを回れるように

工夫し、多くの来場者で賑やかな一日となりました。

「新型コロナウイルス感染症が流行している中、災害は関係なくやってくる」南海トラフ地震や災害に多くの方の関心が高まる中で「災害ボランティアセンター設置訓練」を行いました。

令和4年度は、総合福祉センターふれあいが浸水の被害に遭ったと想定し、別の候補地を模索。今回は桔梗が丘中学校跡地にある「八木学園 英心高等学校」のご協力のもと、学校施設の元理科室や元図書室・駐輪場を使い設置訓練を行いました。

災害ボランティアや市の関係者・英心高等学校の生徒など28名と職員が、実際にボランティアを受け入れる準備として、会場の床にブルーシートを貼り、机やイスの配置を行い担当ブースの設置をしました。

その後、今回の設置訓練について担当別にグループワークを行い、全体の振り返りも含め協働でやる事の大切さを共有しました。



災害ボランティアセンター設置訓練の様子

第1部は落語家の林家たい平さんの講演会、第2部は名張市で活躍する2名のボランティアを交えて3者による対談会をしました。当日は約80名の参加があり、参加者より「講師のギョウと心を掴む講話に感動した」「定年後に何が出来るか?」の思いで参加したが、目の前の

人を笑顔にする活動ができるよう考えた」との声がありました。

生活困窮者対策支援事業として、名張市八幡のコープみえ伊賀センターが実施する宅配サービスで発生した返品商品や余剰品を生活に困窮される方へ食糧として提供するため生活協同組合「コープみえ」と協定を締結しました。

多くの市民の方々の食糧等寄附もいただき、その数は個人11名・7団体・2企業から89回にわたる支援でした。緊急で必要とされる生活困窮者世帯には左表の通りいただいた食糧を提供しました。

実践していただく、体験してもらうことで福祉教育の推進をはかりました。事前学習でユニバーサルデザインについて学んでいることもあり、児童・生徒から積極的な質問も出る中で、充実した講座となりました。

あいでいサービスの特徴である、中重度(要介護3以上)及び医療的ケアの必要な方の積極的な受入、機能訓練指導員による個別機能訓練の実施など「中重度ケアと自立支援介護」の両立に努めました。

保育ICTを導入し、園児の出欠確認や登園後の体調不良の状況確認等、保護者との連携がスムーズに行えるようになり、随時子ども様子を配信し、日々の保育の見える化により、保育内容の共有と保育理解につなげました。

### 昭和保育園



### 地域ボランティア講演会

名張市在住のシニア世代やボランティアに関心・興味のある方を対象に、地域



災害ボランティアセンターの準備作業

「名張市社会福祉協議会」の思いで参加したが、目の前の

車いす体験や視覚障がい者体験、高齢者疑似体験、ユニバーサルデザインなどの紹介を福祉協力の依頼を受け、各学校に出向き「出前講座」を実施しました。

多くの市民の方々の食糧等寄附もいただき、その数は個人11名・7団体・2企業から89回にわたる支援でした。

緊急食糧提供	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
「コープみえ」	2	3	10	3	1	4	9	8	8	3	3	10	64
市民・企業・団体	31	18	24	15	20	27	17	28	21	23	18	29	271
合計	33	21	34	18	21	31	26	36	29	26	21	39	335

### 老人デイサービス事業

コロナ禍ではありましたが、ケア内容の維持に努め、ふれ

また、家庭推進保育士2名を配置し、家庭の状況を把握して一人ひとりの子どもの心身状態を考慮した適切な家庭支援を行うことに努め、保護者の気持ちに寄り添った子育て相談に応じることで、保護者への支援を行いました。

# 昭和保育園

名張市丸之内67・10  
 ■マイ保育ステーション  
 ■保育園 ☎63-1767



遠足に行ってきたよ！



5月18日、楽しかったです！交通安全に気をつけて、道行ってきました。鍛く方に挨拶もしながら、治町公園、朝日公園、ら、上手に歩きました。到着後、グロー、それぞれ目的。到着後、グロー、それぞれ目的。到着後、グロー、それぞれ目的。



遊具などで遊んだり、シロツメクサを摘んでかんむりや指輪を作ったりして楽しみました。カエルや虫との出会いもあり、自然の中で体をいっぱい動かしながら季節を感じていた子どもたちです。

思いっきり遊びました。園に帰ってからの楽しみは、お家の方に作ってもらった愛情たっぷりのお弁当！「先生、みて〜」「ママが作ってくれた！」とみんな大喜び。みんなで食べるお弁当の味は格別でした！地域のの方々による、公園の整備、いつもありがとうございます。

## 災害時協定 調印式

### 13法人が相互支援で連携



5月18日、名張市社会福祉法人連絡会と災害時における相互支援に関する協定に市内の13法人とともに協定書に調印を行いました。新型コロナウイルスの流行以降、社会情勢が大きく変わり、同時に自然災害の猛威にさらされる危険が増大しました。しかし、このような時でもサービスを提供し、また、その一環として今年度は社会福祉法人連絡会とボランティアセンターが協働で「福祉の職場体験」を市内の中高生・18歳以下の人を対象に企画中です。詳しくは、当連絡会ホームページをご確認ください。

## ありがとうございました

### 令和5年5月1日～6月30日までに寄附をいただいた方



特定非営利活動法人生活支援グループ「ごんには」5月9日、特定非営利活動法人生活支援グループ「ごんには」の菅尾理事長と寺田副理事長が当会を訪れ、「福祉事業などに役立つとしてほしい」と、当会の杉本会長へ20万円が手渡されました。「ごんには」は30年ほど前に設立されたグループで、設立当初は清掃活動や、不法投棄の撤去、不法投棄禁止看板の設置などを行ってききました。

▲杉本 会長 長金 菅尾 理事 寺田 副理事 丸之内 之内で

業などに役立ててほしい」と、当会の杉本会長へ20万円が手渡されました。「ごんには」は30年ほど前に設立されたグループで、設立当初は清掃活動や、不法投棄の撤去、不法投棄禁止看板の設置などを行ってききました。

▲「名張市立幼稚園 創立30周年」に園児の思い出をタイムカプセルに入れ、20年

杉本会長は、「会員の皆様の善意のおかげで、地域の福祉活動に使わせていただく」と感謝の意を述べました。

▲「ごんには」は30年ほど前に設立されたグループで、設立当初は清掃活動や、不法投棄の撤去、不法投棄禁止看板の設置などを行ってききました。

▲同役員から寄附とともに送られた手紙

▲6月15日、三重県宅地建物取引業協会伊賀支部より、青年部平野聡会長、岡本芳宣副会長、中尾裕文副会長が来館。ボランティア等地域福

▲「ごんには」は30年ほど前に設立されたグループで、設立当初は清掃活動や、不法投棄の撤去、不法投棄禁止看板の設置などを行ってききました。

次号は9月23日を予定しています。「ほほえみ」の発行とマークの事業には赤い羽根共同募金配分金の一部を活用しています。



▲「ごんには」は30年ほど前に設立されたグループで、設立当初は清掃活動や、不法投棄の撤去、不法投棄禁止看板の設置などを行ってききました。

- ▲特定非営利活動法人生活支援グループ「ごんには」 20万円
- ▲旧名張市立幼稚園タイムカプセル開封 2万5000円
- ▲三重県宅地建物取引業協会 伊賀支部 10万円
- ▲名張市社会福祉協議会 親睦会 3,590円

## 通所介護事業所 「ふれあい」

当事業所では、ご利用者様の目標に応じた活動・社会参加を目指し、身体機能訓練を行っています

**目標** 社会参加を通して、生きがい作りにつなげたい（以前に仕事で受付やアナウンスをされていた経験がある）

**訓練** 老人福祉センターで福祉バスの案内アナウンス訓練

**目標** デイサービスの昼食メニュー案内をつくる

**訓練** 毎月の昼食メニューをパソコンで作成する訓練

**目標** 歩行器を使って、近所のスーパーに一人ですぐに外出したい（年金確認のためATMに行く）

**訓練** 施設周辺の道路を歩行器を使って、職員の見守りで歩行訓練

**目標** 利用者用のごみ箱をつくる

**訓練** チラシを折ってペーパーバックをつくる訓練

この他にも、車椅子やポータブルトイレへの移り変え訓練などの日常生活動作訓練、菜園での野菜作りや保育園との交流などにより、楽しみや生きがいづくりで「自立支援介護・重度化防止ケア」に取り組んでいます。

一日体験・施設見学随時受付中  
 \お気軽にお問い合わせください/  
 ☎63-1207